

より、そう、ちから。

東北電力からのお知らせ

本紙は女川原子力発電所が立地している女川町、石巻市と、隣接する登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町の皆さまに向けたコミュニケーション紙です。

女川原子力発電所2号機は2023年11月の工事完了を目指し、安全対策工事を着実に進めております。



発電所の構内を「バーチャル見学 女川原子力発電所」を全面リニューアルしました

当社ホームページコンテンツ「バーチャル見学 女川原子力発電所」の内容を全面的にリニューアルしました。3Dグラフィックを活用し、発電所構内の各施設や安全対策設備の配置状況などを紹介するとともに、2号機建屋では、原子炉上部や使用済燃料プールなどを360度パノラマ画像でご覧いただけます。本コンテンツについては、安全対策工事の進捗などに合わせて、今後も更新してまいります。

1 バーチャル見学 女川原子力発電所

実際に電気がつくられる場所を見たい時は…

「原子炉上部」をクリック!

原子炉上部

2 2号機建屋を見る

「2号機建屋を見る」をクリック!

2号機建屋の大まかな構造や原子炉上部・使用済燃料プール・タービンなど主要設備の位置が確認できます。

3 原子炉上部

燃料交換機

2号機建屋内の主要なエリアや設備については360度パノラマ画像が表示されますので、上下左右やズームなど自由な視点操作により、さまざまな角度から臨場感ある画像をご覧いただけます。

安全対策工事の進捗状況をお知らせ

女川原子力発電所の安全対策を紹介するページもリニューアル。安全対策工事の写真を時系列に表示し、進捗状況が一目で分かるようにしました。

1 女川原子力発電所における主な安全対策工事と工事状況について

「津波から守る」をクリック!

2 工事の状況

女川原子力発電所の安全対策と現在の工事の状況が分かるんだね。

東北電力がおすすめする、この冬にご家庭で取り組める節電方法とその効果をご紹介します

詳しくはこちら!

おすすめする節電方法を“ちょこっと”ご紹介!

- エアコン**
冬の暖房時の室温は20℃を目安に
外気温6℃の時、エアコン(2.2kW)の暖房設定温度を21℃から20℃にした場合(使用時間:9時間/日)
月間で電気約9.42kWhの節電、約240円の節約
冷蔵庫は毎日使い、電源も入れっぱなしでたくさん電力を消費しているため、冷蔵庫の節電が、大きな節約につながります。
- 冷蔵庫**
設定温度は適切に
設定温度を「強」から「中」にした場合(周囲温度22℃)
月間で電気約5.14kWhの節電、約130円の節約
- 電球**
電球形LEDランプに取り替える
54Wの白熱電球から9Wの電球形LEDランプに交換(年間2,000時間使用)
月間で電気約7.5kWhの節電、約190円の節約
- テレビ**
観る時は電源をOFFに、画面は明るすぎないように
液晶の場合 テレビ(32型)の画面の輝度を最適(最大→中間)にした場合
月間で電気約2.26kWhの節電、約57円の節約

エネルギーなるほどのクイズ

クイズに正解された方の中から、抽選で**各10名様**に、
A onagawa fish「ごろたん」彫刻入りオリジナルキーホルダー
※「ごろたん」は女川原子力PRセンターのキャラクターです。
B 炊き込み御飯の素 銀鮭をプレゼントいたします。
ご応募の際は希望プレゼント名を明記ください。
※当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※クイズの応募で知り得たお客様の個人情報は当選者への賞品の発送のみに使用します。また、いただいたご意見については、今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

大規模な原子力災害が発生した時に現地の対策本部となる施設は?

①事務新館 ②緊急時対策建屋 ③女川原子力PRセンター

応募方法:
ハガキまたはメールにて、右記の必要事項をご記入の上、ご応募ください。

応募締切:
2023年3月20日(月) 消印有効

[ハガキ]
63円 9813290
日本郵便株式会社 東野郵便局 郵便私書箱第25号(TP内)
東北電力宮城支店「エネルギーなるほどクイズ」係

[メール]
メールフォームが立ち上がります

当社は、女川原子力発電所2号機の運転再開を、単なる再稼働ではなく、発電所をゼロから立ち上げた女川1号機建設当時の先人たちの姿に学び、地域との絆を強め、東京電力福島第一原子力発電所事故を教訓に、新たに生まれ変わるとの決意を込めて「再出発」と位置付けております。

これからも新規制基準への適合にとどまらず「安全対策に終わりはない」という信念のもと、安全確保を最優先に、原子力発電所のさらなる安全レベルの向上に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

(写真は津波による漂流物から防潮堤を守る防護工設置工事の様子)

女川原子力発電所2号機における安全対策工事の現状を公開しました

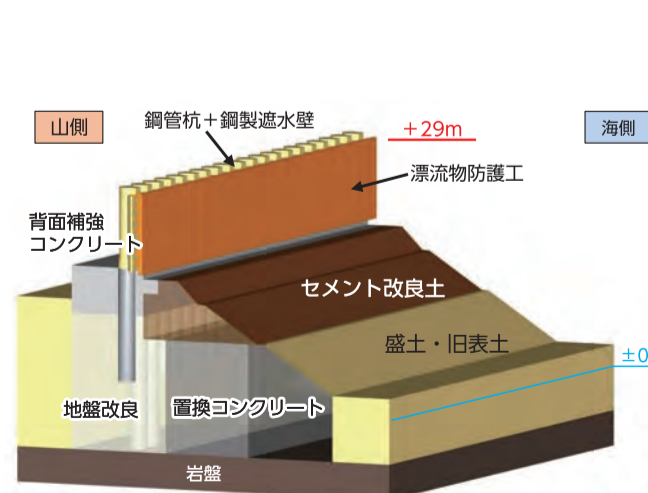
2022年12月21日、女川原子力発電所2号機の安全対策工事の完了時期まであと約1年となったことから、報道機関の皆さまに現在の状況を直接取材いただく機会として、女川原子力発電所の現場公開を実施しました。テレビや新聞などの報道を通じて、地域の皆さまに女川原子力発電所の現状をお伝えしたいと思い、実施したものです。

今回の現場公開
スポットはこちら!

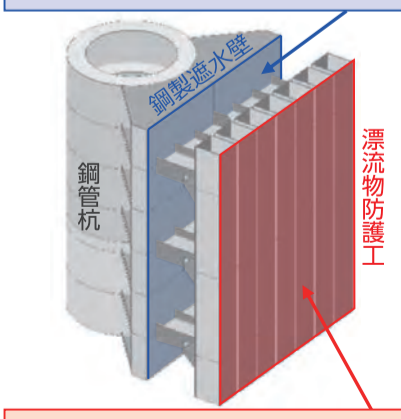
公開箇所 1 防潮堤



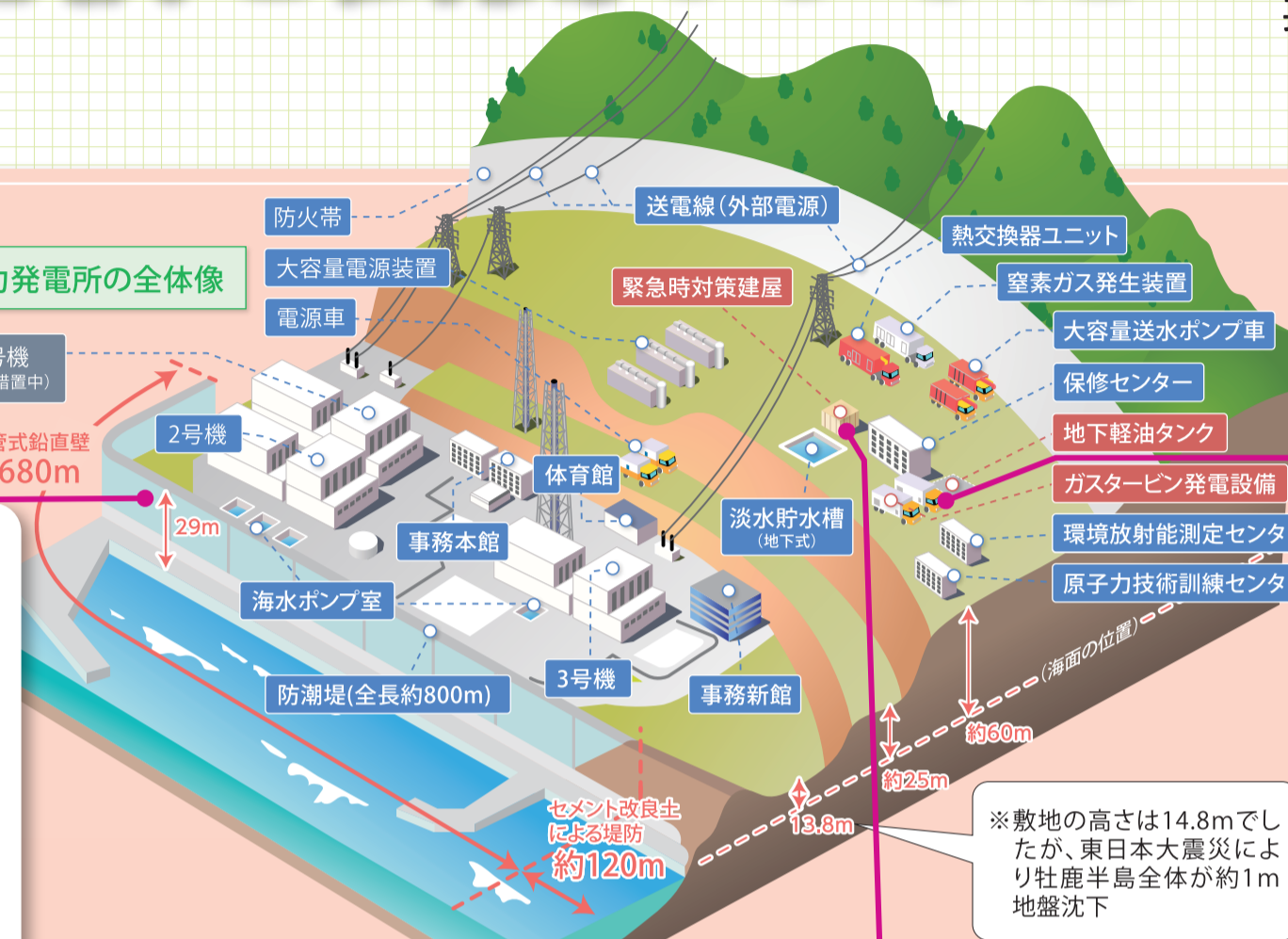
発電所敷地海側に海拔29m、全長約800mの防潮堤を設置。さらに安全性向上のため、防潮堤下部の地盤改良や置換コンクリートの設置、津波による漂流物の衝突に耐えられるよう防護工の追加工事を実施しています。



津波を敷地に浸水させないために鋼製遮水壁を設置



津波による漂流物(船舶や車両など)の衝突に耐えられるように防護工を設置



公開箇所 2 緊急時対策建屋



大規模な原子力災害が発生した場合の現地対策本部となる施設。建屋内には電源設備、通信連絡設備、居住性等を確保した緊急時対策所を整備しています。

- 工事概要**
- ・構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
 - ・階数: 地下2階・地上2階建て
 - ・形状: 約36m×約36m
 - ・高さ: 約14m
 - ・延べ床面積: 約4,000㎡
 - ・収容人数: 最大200名



公開箇所 3 ガスタービン発電設備

津波の影響を受けにくい高台にガスタービン発電設備を設置し、発電所の安全に必要な電源を確保しています。

緊急用電気品建屋



地下軽油タンク



構内には、ガスタービン発電機2組を7日間運転できる燃料を確保しています。



再稼働にあたっては地域の皆さまからのご理解が何よりも重要と考えております。今後も、地域の皆さまから信頼されご安心いただける発電所となるよう「2023年11月」の工事完了を目指し、着実に取り組んでまいります。



女川原子力発電所の安全対策工事の様子をご覧になりたい方は
次のページをチェック!